



2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月13日

上場会社名 株式会社構造計画研究所 上場取引所 東
コード番号 4748 URL <https://www.kke.co.jp>
代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 渡邊 太門
問合せ先責任者 (役職名) 執行役副社長 (氏名) 木村 香代子 TEL 03-5342-1142
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月11日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第1四半期の業績 (2023年7月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	3,056	9.9	△466	—	△303	—	△230	—
2023年6月期第1四半期	2,781	16.8	△417	—	△489	—	△343	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	△43.51	—
2023年6月期第1四半期	△65.43	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	16,786	8,677	51.7
2023年6月期	18,307	9,301	50.8

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 8,677百万円 2023年6月期 9,301百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	20.00	20.00	20.00	80.00	140.00
2024年6月期	30.00	—	—	—	—
2024年6月期 (予想)	—	—	—	—	140.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2023年6月期期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 特別配当 20円00銭

※2024年6月期 (予想) につきましては、合計で140円00銭としており、各四半期毎に配当を行うこととしておりますが、第2四半期以降の支払額については未定であり、決定次第ご報告いたします。

3. 2024年6月期の業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	8.6	2,350	7.3	2,470	17.5	1,700	5.4	316.19

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期1Q	5,500,000株	2023年6月期	5,500,000株
② 期末自己株式数	2024年6月期1Q	174,918株	2023年6月期	223,518株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期1Q	5,300,357株	2023年6月期1Q	5,248,721株

（注）2020年ESOP信託、2022年ESOP信託及び2017年役員向け株式給付信託が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(持分法損益等)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、21世紀の日本を代表する『知識集約型企業』をありたい姿としており、社会とともに目指す未来像・方向性として、ソート (Thought) 「Innovating for a Wise Future」を掲げております。このソートには、「工学知」をベースにした有益な技術を社会に普及させることにより、より賢慮にみちた未来社会を創出していきたいという思いが込められております。この実現に向けて、Professional Design & Engineering Firmとして、工学知に裏付けられた高付加価値なサービスを提供し続けることを目指して経営を推進しております。

当第1四半期累計期間の経営成績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期 累計期間	当第1四半期 累計期間	増減率 (%)
受注高	4,057	4,308	+6.2
売上高	2,781	3,056	+9.9
売上総利益	1,048	1,146	+9.3
営業利益 (△損失)	△417	△466	—
経常利益 (△損失)	△489	△303	—
税引前四半期純利益 (△損失)	△489	△303	—
四半期純利益 (△損失)	△343	△230	—

当第1四半期累計期間においては、前事業年度から繰り越された豊富な受注残高を着実に遂行したことで、売上高は前年同四半期を上回る結果となりました。通期の業績予想に対して当第1四半期累計期間の売上高が占める割合は17.0%となり、前年同四半期と同等の水準で推移しております。

当社では、多くの顧客が決算期を迎える下半期に成果品の引渡しが集中することから、第1四半期累計期間の売上高及び利益が占める割合は低い水準となる傾向があります。また、当第1四半期累計期間においては、昨年度実施した若年層の待遇改善に続き、一定等級以上の所員の基本給の引き上げの実施を行った他、研究開発活動や営業活動の強化も行っております。これらの結果、売上は前年同四半期より増加したものの、先行する活動費用の増加により、営業損失は前年同四半期より49百万円増加いたしました。一方、投資先のファンドにおいて保有株式の売却があったことを受けて営業外損益において、投資有価証券運用益を計上したことで、経常損失は前年同四半期より縮小しております。

当事業年度においては、経営指標である総付加価値は102億50百万円を計画しております（前事業年度の総付加価値額は、計画94億10百万円に対し、実績97億40百万円）。今後も継続して積極的な受注獲得と着実な案件遂行に務め、計画の達成を目指してまいります。

受注残高に関しては、前事業年度から繰り越された71億96百万円の受注残高に加え、43億8百万円（前年同四半期は40億57百万円）の受注を獲得したことで、前年同四半期末を上回る84億48百万円（前年同四半期末は81億47百万円）の受注残高を確保しております。

当第1四半期累計期間の報告セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	エンジニアリングコンサルティング			プロダクツサービス		
	前第1四半期 累計期間	当第1四半期 累計期間	増減率 (%)	前第1四半期 累計期間	当第1四半期 累計期間	増減率 (%)
受注高	2,813	2,873	+2.1	1,243	1,435	+15.4
売上高	1,520	1,578	+3.9	1,261	1,477	+17.1
売上総利益	582	558	-4.2	465	587	+26.2
売上総利益率 (%)	38.3	35.4	—	36.9	39.8	—
受注残高	6,505	6,564	+0.9	1,641	1,884	+14.8

(エンジニアリングコンサルティング)

当第1四半期累計期間においては、前事業年度から繰り越された案件を着実に遂行することで堅調に推移しましたが、研究開発活動や営業活動の活性化に伴う費用の増加や、一部のコンサルティング案件で原価回収基準の適用対象となるプロジェクトが増加したことで、利益率は低下しております。今後も引き続き品質の確保に留意しながら着実に案件を遂行するとともに、付加価値の高い案件獲得に努めてまいります。

(プロダクツサービス)

当第1四半期累計期間においては、クラウドサービス提供型ビジネスが売上成長をけん引しました。なお、前事業年度において第2四半期以降に一部プロダクツサービスの価格改定を行っているため、前年同四半期より利益率が改善しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて23.9%減少し、52億93百万円となりました。これは、主に現金及び預金が18億33百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が5億52百万円減少する一方、前渡金が1億65百万円、前払費用が1億60百万円増加したことによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて1.2%増加し、114億93百万円となりました。これは、主にその他に含まれる繰延税資産が1億17百万円、投資有価証券が27百万円増加する一方、ソフトウェアが18百万円減少したことによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて8.3%減少し、167億86百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて15.1%減少し、48億40百万円となりました。これは、主に未払費用が15億59百万円減少する一方、短期借入金が6億円、賞与引当金が3億7百万円増加したことによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて1.2%減少し、32億69百万円となりました。これは、主に長期借入金が1億10百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて10.0%減少し、81億9百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて6.7%減少し、86億77百万円となりました。これは、主に利益剰余金が6億66百万円減少したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、2023年9月7日に公表いたしました通期業績予想の数値から変更はございません。今後、通期業績予想に修正の必要が生じた場合には、東京証券取引所の適時開示規則等に基づき、速やかにご報告させていただきます。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,399,906	566,215
受取手形、売掛金及び契約資産	2,780,628	2,228,502
半製品	241,641	295,061
仕掛品	22,619	80,729
前渡金	669,508	834,941
前払費用	777,634	937,914
その他	62,951	349,700
貸倒引当金	△119	△62
流動資産合計	6,954,771	5,293,003
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,091,846	2,099,206
土地	3,204,301	3,204,301
その他（純額）	131,137	148,619
有形固定資産合計	5,427,285	5,452,127
無形固定資産		
ソフトウェア	366,017	347,270
その他	12,073	12,058
無形固定資産合計	378,091	359,329
投資その他の資産		
投資有価証券	2,777,927	2,805,321
その他	2,814,943	2,921,735
貸倒引当金	△45,149	△45,149
投資その他の資産合計	5,547,721	5,681,907
固定資産合計	11,353,098	11,493,364
資産合計	18,307,870	16,786,368
負債の部		
流動負債		
買掛金	365,509	373,214
短期借入金	-	600,000
1年内返済予定の長期借入金	908,420	870,920
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
未払金	628,742	632,040
未払費用	1,750,716	190,738
前受金	1,197,249	1,483,727
賞与引当金	-	307,915
役員賞与引当金	-	18,560
受注損失引当金	1,473	1,587
その他	795,434	311,333
流動負債合計	5,697,546	4,840,037

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年9月30日)
固定負債		
長期借入金	650,000	540,000
株式報酬引当金	226,508	238,651
退職給付引当金	2,316,345	2,354,753
役員退職慰労引当金	20,540	20,540
資産除去債務	94,780	94,908
その他	453	20,268
固定負債合計	3,308,628	3,269,122
負債合計	9,006,174	8,109,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,010,200	1,010,200
資本剰余金	1,353,082	1,353,082
利益剰余金	7,121,309	6,454,422
自己株式	△613,764	△474,808
株主資本合計	8,870,827	8,342,896
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	430,868	334,312
評価・換算差額等合計	430,868	334,312
純資産合計	9,301,695	8,677,208
負債純資産合計	18,307,870	16,786,368

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,781,984	3,056,515
売上原価	1,733,460	1,910,374
売上総利益	1,048,524	1,146,141
販売費及び一般管理費	1,465,556	1,612,498
営業損失(△)	△417,032	△466,357
営業外収益		
受取利息	180	205
有価証券利息	1,899	-
投資有価証券運用益	-	166,964
その他	2,085	1,591
営業外収益合計	4,166	168,760
営業外費用		
支払利息	3,741	2,632
社債利息	183	60
投資有価証券運用損	56,332	-
為替差損	13,198	2,049
その他	3,451	1,254
営業外費用合計	76,907	5,997
経常損失(△)	△489,773	△303,593
税引前四半期純損失(△)	△489,773	△303,593
法人税、住民税及び事業税	123	2,033
法人税等調整額	△146,471	△74,968
法人税等合計	△146,347	△72,934
四半期純損失(△)	△343,425	△230,658

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	エンジニアリング コンサルティング	プロダクツ サービス	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	181,661	343,532	525,193	—	525,193
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	1,338,359	918,432	2,256,791	—	2,256,791
顧客との契約から生じる収益	1,520,020	1,261,964	2,781,984	—	2,781,984
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,520,020	1,261,964	2,781,984	—	2,781,984
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,520,020	1,261,964	2,781,984	—	2,781,984
セグメント利益	55,642	186,747	242,389	△659,422	△417,032

(注) 1. セグメント利益の調整額△659,422千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第1四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	エンジニアリング コンサルティング	プロダクツ サービス	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	255,928	302,754	558,683	—	558,683
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	1,322,991	1,174,840	2,497,831	—	2,497,831
顧客との契約から生じる収益	1,578,919	1,477,595	3,056,515	—	3,056,515
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,578,919	1,477,595	3,056,515	—	3,056,515
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,578,919	1,477,595	3,056,515	—	3,056,515
セグメント利益	28,291	246,679	274,971	△741,328	△466,357

(注) 1. セグメント利益の調整額△741,328千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年9月30日)
関連会社に対する投資の金額	880,812千円	880,812千円
持分法を適用した場合の投資の金額	27,912千円	一千円
	前第1四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
持分法を適用した場合の投資損失(△)の金額	△170,998千円	△27,912千円

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	1,068,015	107.7
プロダクツサービス	900,354	111.5
合計	1,968,369	109.4

(注) 金額は総製造費用より他勘定振替高を控除した金額によっております。

②受注実績

当第1四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	2,873,042	102.1	6,564,065	100.9
プロダクツサービス	1,435,469	115.4	1,884,307	114.8
合計	4,308,511	106.2	8,448,373	103.7

(注) 金額は販売価額によっております。

③販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	1,578,919	103.9
プロダクツサービス	1,477,595	117.1
合計	3,056,515	109.9